

さわやか福祉財団×道社協×道庁で支える！ 支え合いの地域づくり in 北海道

さわやか福祉財団・北海道社会福祉協議会・北海道庁により構成される「北海道協議体」では、三者の連携を密にするとともに、共催事業などを通して、北海道内の新地域支援事業を広域的立場からサポートする取り組みを行っています。

地域（おれたち）の力を合わせる時……！



／届け！地域にさわやかな風！



／福祉王に俺はなる！



／北海道の本気…見せます！

広域（わたしたち）だって連携しちゃいます！

さわやか
福祉財団 × 北海道社協 × 北海道庁

市町村の取組みを後押ししたい！

新地域支援事業北海道協議体

北海道協議体とは？

新地域支援事業における全道レベルでの推進を目的とした、さわやか福祉財団、北海道、北海道社会福祉協議会の三者による連携の場です。

平成26年(新地域支援事業開始の前年)より始動し、今年で9年目を迎えました。令和3年度末までに38回の「協議体会議」を行っています。

情報交換

- ・協議体会議の実施

課題共有

- ・S Cや自治体を対象とした調査の実施等

事業協力

- ・S C向けの養成研修、連絡会議、地区別情報交流会への協力

共催事業

- ・共通した課題に対応する研修会の実施



「協議体会議」にはさわやか福祉財団の北海道ブロック担当リーダー、インストラクター、北海道社協担当者、北海道庁担当者が参画し、定期的な情報交換を行っています。

各主体が実施する事業への相互協力の他、共通の課題に対応する共催事業等を企画・実施することで、道内市町村の取組みの後押しを行っています。

令和3年度は、主に自治体職員を対象とした「支え合いの地域づくり研修会」を実施し、190名を超える方に参加いただきました。



平成27年
「生活支援コーディネーターと協議体に係る研修会」
道内8か所にて実施し、さわやか福祉財団堀田会長にもご講演いただきました



令和3年
「支え合いの地域づくり研修会」
医療経済研究機構主席研究員の服部真治氏にご講演いただきました